

花びと通信

花と緑のあふれるまちつくば

No.44 2025年9月30日
花びと会しば

【令和7年度 総会報告】

- ◆ 日 時:2025年4月16日(水)13:30~15:00
- ◆ 場 所:千葉市市民活動支援センター 会議室

会員53名、出席16名、委任状19名にて令和7年度の総会は成立いたしました。

第1号議案 令和6年度の事業報告

第2号議案 令和6年度の収支決算報告

第3号議案 鈴木幹事より監査報告があり、第1号議案、第2号議案は承認されました。

第4号議案 役員の改選案 承認されました。

第5号議案 令和7年度の活動計画案 承認されました

第6号議案 令和7年度の収支予算案 承認されました

総会議案は、第1号議案から第6号議案まですべて可決いたしました。

- ◆ 令和7年役員は引き続き 会長:仙波慶子 副会長:樺浦敏彰 副会長:高橋公子

【会員研修】

◆ 日時:2025年5月28日(水)

◆ 研修先:千葉市花の美術館

ボタニカルミュージアムとして、3月29日にリニューアルオープンした千葉市花の美術館に行きました。緑政課の方も含めて20名。前庭の「青りんご」をメインモチーフにしたエントランスオブジェが出迎えてくれました。コンセプトは、自然という奇跡を思い出す場所との事です。館内を2班に分かれて係の方から丁寧な説明をして頂きました。入館して以前の面影は全くなくその変貌ぶりに驚きました。著名なフラワーアーティストがプロデュースしたそうです。奥には、一万本のドライフラワーなどを使った高さ5メートルの「ミラクルツリー」がありました。以前からあった常設の温室はきれいに整備され、植栽についても詳しく説明をして頂きました。熱帯雨林の花々が咲いていました。中庭に出て五月の青空をみてホット一息つきました。四季折々の花の楽しめる一年草の花壇や中低木花木が植えられていました。最後に、裏庭へ廻り満開のバラ、クレマチスなどを鑑賞しながら 皆さんとしばし花談義。



個人的には、オブジェなどの飾り換えが行われるのかどうか気になりました。以前は、千葉市民であれば高齢者は無料で入れ、散歩ついでに何度も入館して、憩いのひと時を過ごしていましたので、有料になったのが残念です。

その後、ヨットハーバーのレストランに移動し昼食をとりました。目前に青い海が広がり素晴らしいロケーションでした。久しぶりに、会員同士の親睦がはかれ、楽しい一日となりました。

【松本登美子】

2025「大賀ハスまつり」開催！

開催期間:6月21日(土)~29日(日)

共 催:花びと会しば・千葉市

会 場:千葉公園内蓮華亭・ハス池周辺

協力団体:千葉都市モノレール(株)・千葉商工会議所女性会・(公社)千葉市観光協会・千葉市造園緑化協同組合・弁天町会・(特非)まちづくり千葉・ちは産学官連携プラットフォーム



今年も「大賀ハスまつり」を開催できました事を関係団体のみなさまに深く感謝致します。会場マップやイベント情報などがLINEで便利に使えるようになり、大変多くの方に訪れていただきました。いつとき千葉公園入り口付近が渋滞する程でした。

開会セレモニーには千葉市長をはじめ

とし、区長、花のあふれるまちづくり推進議員連盟、関連団体ほか多方面の方々にご出席いただきました。オープニングの挨拶はハス柄の浴衣姿の花びと会しばの仙波慶子会長。神谷俊一市長は「学生ボランティアさんが増えてきました。また、オオガハスを通じてご縁ができた佐賀県からもご参加いただきました。市民ボランティアの『ハス守さんミニガイド』も2年目になりました。人と街をつなぐ千葉市の花オオガハスをしっかりと、つないでいきましょう」と話されました。



と咲き誇るオオガハスとの壮大で神秘的な悠久の情景が広がるそうです。

恒例の大賀ハスガイドをはじめ、箏などの演奏会、象鼻杯体験、お茶席ほか、多彩なイベントが行われ、ボタニーペインティングなどのミニ講座やハスシャワー、ちはなちゃんとの記念撮影会・ぬり絵なども人気でした。

ハスの花数は最終日によく476 本となり例年より少なめでしたが、多くのみなさまにご協力をいただき、盛況のうちに9日間の会期を無事に終えることができました。



象鼻杯の
様子



【中尾良枝】

大賀ハスまつりで販売したオオガハスの果托の売り上げを緑と水辺の基金に寄付！

【講演:大賀蓮とハスの楽しみ方】

講師:東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構
技術専門職員 石川 祐聖 氏

ハスについて

ハス属(*Nelumbo*)は、ハス科に分類される水生植物で、熱帯東アジア、オーストラリア北部に分布するハス(*N. nucifera*)と北米東部・南米北部に分布するキバナバス(*N. lutea*)の2種が含まれています。ハスの花は紅色や白色をしており、観賞用の品種は総称して「花ハス」と呼ばれています。ハスの肥大した地下茎は野菜のレンコンとしても親しまれています。キバナバスの花は黄色をしており、ハスにはない花色のため、種間で交配が行われ「黄紅色」などの新たな花色の品種が育成されています。



ハスの系統保存

東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構には、国内外から収集した300品種を超えるハスのコレクションがあり、遺伝資源を受け継いでいくための栽培施設が整備されています。ハスのコレクションには、1951年に植物学者の大賀一郎博士が約2000年前の地層から発掘して発芽、開花したことで知られる「大賀蓮」があります。大賀蓮をはじめ、ハスの系統を保存するためには遺伝的な変化を避ける必要があるため、地下茎を植え継ぐ栄養繁殖によって継代を行っています。

花ハス鑑賞のポイント

花ハスを鑑賞する上で重要なポイントは2つあります。1つ目は、花の寿命です。ハスの花は開花から4日目に散る性質があり、開花1日目から4日目の間に花弁の色や開き方に変化が見られます。2つ目は、花が開いている時間です。ハスの花は、早朝4時頃に開花し10時ごろに花弁を閉じる性質があり、花が散る4日目まで開閉をくり返します。そのため、観賞は午前中の早い時間に行う必要があります。ハスの花は咲いている間、時間経過とともに違った表情を見せることも魅力となっています。

江戸時代から続くハスの名所



上野公園にある不忍池は、江戸時代から続くハスの名所として親しまれており、浮世絵に描かれた景色を現在も見ることができます。江戸時代は園芸文化が大きく発達した時代で、当時の名所を紹介した「江戸名所図会」には、茶屋でハスを見ながら食事を楽しんでいる挿絵とともに、「不忍池は江府第一の蓮池なり 夏月に至れば荷葉累々として水上に蕃衍し 花は紅白をまじえ芬々人を襲う 蓮を愛する輩 凌晨を殊更の清觀とす」と紹介されています。不忍池で見られるハスは、開花期が7月上旬から8月中旬で1ヶ月以上花を楽しむことができますが、特に7月の3週目ごろに花の数が多くなり、最も美しい瞬間を迎えます。

～大賀ハスまつりにご協力頂いた学生さんからのひと言～

(協力大学名:千葉経済大学・植草学園大学・東京情報大学・淑徳大学・敬愛大学)

芝庭からの集客を増やすという課題に取り組んだ私たちは、緑政課のご担当者と何度もやり取りさせていただき、最終的に改善策を実行できることで大きな達成感を得られました。今回の経験を来年に活かしたいです。(千葉経済大学 2年生)

2000 年以上前の種から開花した大賀ハスが、私たちに与える影響の大きさを実感しました。私は2年連続で参加しましたが、活動に関わっている地域の方々の大賀ハスに対する思いが伝わってきました。大賀ハスは地域を一つにする力があり、大賀ハスを中心により良い千葉市になると感じました。(千葉経済大学 3年生)

私は今回が大賀ハスまつり初参加でした。「花びと会しば」の皆様と協力したり交流したりしながら、たくさんの来場者をお迎えして千葉公園を盛り上げられたことは、私にも私の所属するまちづくりゼミ全体にもパワーアップに繋がったと思います。(千葉経済大学 2年生)

【講師派遣事業】…実施場所:市内公民館・真砂いきいきセンター(5日間)・市民団体

コケ玉講習をはじめ10年程になります。AI 時代を逆行するかのような、身近な小さな自然を自分自身の手で創り出すのが「コケ玉」の魅力かもしれません。

今年度は5月末の、花園公民館の主催事業からスタートしました。応募人数をはるかに上回り抽選となつたと伺いました。

酷暑の中での大賀ハスまつりは、屋外のテントの中での講習と販売となりました。今までにない暑さを経験しました。私を含め受講された方の健康面が心配でしたが、皆さん汗だくになって元気にコケ玉づくりを楽しんで頂きました。販売品が葉焼けするほどの日ざしでした。リピーターの方も多く、コケ玉作りだけではなく、いろいろな植物談義にも花が咲き、私自身楽しませてもらいました。

【藤平真一郎】



【今後の予定】

月 日	内 容	場 所
10月31日(金)	会員研修:ハンギングバスケット作成	千葉公園 蓮華亭
11月 23日(日・祝)	ちはなちゃんのお誕生日会	千葉公園 芝庭
12月上旬	市民会館花壇植栽	市民会館

個人会員＆賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。研修会、講座、講演会等を開催しています。

- ◆個人会員 年会費：1,000 円
- ◆団体会員 年会費：5,000 円
- ◆賛助会員 個人：年会費 一口 3,000 円
団体・企業年会費 一口 5,000 円



花びと会しば事務局

「千葉市都市局公園緑地部緑政課」

Tel 043-245-5775 Fax 043-245-5885

midoritohana@city.chiba.lg.jp